

緑の風 FAX版

NO. 2
2018年7月10日
JR東労組情宣部

自然災害の猛威 異常気象時代の到来！

西日本で記録的な豪雨

西日本豪雨により、多くの方が被災されました。亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた方のお見舞いを申し上げます。

西日本豪雨では、記録的な降水量により死者128人、行方不明者は6府県で56人（7月10日現在）となっており、多くの方が捜索に全力を挙げています。生存確率が大きく低下する『被災発生後72時間』が既に経過した今も、被災状況や安否確認などの全貌が明らかになっていない状況は、甚大な被害を物語っています。

東日本大震災から7年が経過しました。私たちは多くの方から多大なる支援をしていただき、復興の道を歩んできました。『自然災害大国＝日本』に住む私たちは、お互いの協力がとても重要です。

今後、JR東労組として組合員のみなさんのご理解・ご協力を得ながら、被災地へできる限りの支援活動を行っていく決意です。

私たちは、地球温暖化による異常気象時代の到来であることを受け止めていかなければなりません。今まで以上に、防災・減災意識を高め、組合員のみなさんから多くの意見をいただき、共に知恵を出し合いながら『組合員の命』『お客さまの命』を守り抜く鉄道・バスを創り上げていこうではありませんか！

**組合員のみなさんのご家族で被災された方は、
分会・支部・地本に申し出ていただくようお願いいたします。**